



町民意見箱「ご意見箱」に寄せられたご意見を紹介します

●保育所の待機児童について

【ご意見】

全国的に待機児童が問題になっており、猪苗代町でも同じ現状があるが、どのような対策をしているのか。

【回答】

待機児童については、乳幼児年齢（0～2歳）を中心に数名見られます。

保育所などでは、保育室の広さに応じて預かる人数を定めており、現時点での増員は難しい状況にあります。このことから本町では、幼稚園・保育所の両方の良いところを活かした幼保連携型こども園の整備を進めており、昨年4月には、さくらこども園を開園いたしました。現在も待機児童ゼロを目指して（仮称）川西こども園の整備を進めておりますので、もうしばらくお待ちください。

園こども課 こども園係
☎（66）21127

●保育所からの退所について

【ご意見】

行政で生後2カ月の乳児を預かってくれる施設はないのに、母親が産後2カ月で働かないと上の子が退所させられてしまうのは矛盾しており、女性に優しいのではないか。

【回答】

こども園・保育所では、生後6カ月以上のお子さんをお預かりしております。これは、生後間もない乳児との触れ合いを大切に、母子共に健康で過ごしていただくためです。

入所児童の退所については、お母さんが出産後自宅においてになり、家庭保育ができる状況にあることから、上のお子さんについてもご家庭で一緒に過ごしていただくようお願いしております。

園こども課 こども園係
☎（66）21127

●粗大ごみなどの再利用について

【ご意見】

町が旧衛生センターで回収している粗大ごみなどのうち修理、リメイクして再利用できるものを廉価で販売したり、フリーマーケットなど不要品を売買できる場を作ってほしい。

【回答】

ごみの減量化を図るために廃棄物のリサイクル、再利用推進は重要であると考えております。これまでもありサイクル、再利用のための施設整備を検討してきたところですが、まだ実現に至っておりません。施設整備までの対応として、回収した粗大ごみでそのまま使えるものを希望者へ譲り渡すなど再利用方法について検討して、詳細につきましては決定次第お知らせいたします。

●CM大賞への参加について

【ご意見】

隣接の市町村はすべて福島コマーシャル（CM）大賞に出場しているが、県内随一の観光地である猪苗代町の出場経歴と今後の予定を問う。

【回答】

CM大賞については、地域おこしに熱意のある団体や町民の皆さんが企画し、町がそれをサポートして作品を作り上げるという協働の形が理想であり、それが良いPRにつながるものと考えております。

このような考えのもと、町内の団体や町民の皆さんに後に続いていただければという思いで、平成16年から18年までの3年間、町役場が企画・制作した作品をCM大賞に応募しました。この間、町内の

の団体に参加を呼び掛けましたが、希望される団体がなかったため、19年以降は参加を見合わせていたところでした。

今後は関係機関と連携を図りながら、団体だけでなく、広く町民の皆さんにもお知らせして、参加に向けて努めてまいります。

総務課 秘書広報係
☎（62）21111

●野口英世博士立像建設の募金と立像の活用について

【ご意見】

町民から半強制的に募金を募り、設置場所は観光施設にとの町民の声が多かったにもかかわらず、現場所に設置され、町民の認知度は皆無に等しい現状でこれからの有効活用を問う。（原文のまま掲載）

【回答】

野口英世博士の立像の件と推測して回答いたします。町立猪苗代病院前に設置されている「野口英世博士」の立像は、設立に関わったのが「野口英世博士立像建設募金実行委員会」で、町内の28団体が参加して活動を開始したものであり、その組織は解散しております。

当時の事務局に問い合わせたところ、募金の方法は、町内の学校などへの募金箱の設置、町内企業

●除雪作業員の金品の収受について

【ご意見】

先シーズン、除雪作業員が町民から金品を受け取っているのを見た。その家の雪はきれいにされており、公平性に欠けている。町ではどのような指導をしているのか。

【回答】

除雪作業員の金品の収受については、決してあってはならない事です。ですので、毎年シーズン初めに指導しております。

また、除雪作業においても特定の個人宅のみ優遇するような除雪をしないように指導しております。ご指摘がございました件は内部で徹底的に調査し事実確認いたします。

建設課 建設係
☎（62）21118

●図書館の整備について

【ご意見】

以前、図書館は複合施設の形で、会議室の貸し出しや印刷機の利用など、現在の「学びいな」の仕事のようなことも行われていた。一緒にすれば佐賀県武雄市のような形にもできたのではないか。

【回答】

町は、亀ヶ城公園整備計画に基

づき、公園全体を集約型公共施設として整備に努めてきました。みんなの広場を中心に半径200メートル以内の歩いて移動できる範囲に、体育施設として総合体育館カメリーナ、文化交流・体験施設として体験交流館学びいな、むかし体験館があり、現在建築中の（仮称）ふるさと歴史館もその一つです。整備が完了すれば、公園全体が町内外の人々のコミュニケーションの場として、今まで以上に多くの方々にご利用いただけることとなります。

（仮称）ふるさと歴史館の管理・運営面におきましては、先進地の事例や町民の皆さんのご意見を参考に、町民の皆さんが気軽に集え、皆さんに愛され、利用される施設として整備してまいります。

生涯学習課 生涯学習係
☎（72）0180

ご意見箱は役場庁舎、カメリーナ、学びいなに設置しています。より良いまちづくりのため、皆さんのご意見をお待ちしています。

ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただきますようお願いいたします。

●ご意見箱に関する問い合わせ先
総務課 秘書広報係
☎（62）21111



野口英世博士の立像

●ゆるキャラの制作について

【ご意見】

県内でも「ゆるキャラ」を作って町おこしに生かす自治体が多くなってきたが、県内随一の観光地である猪苗代町では、制作する予定があるか。

【回答】



チラシを配るヒデヨくん